

Your Capital Market Intelligence

IR Japan

株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー



決算説明会資料

2014年3月期（2013年4月1日～2014年3月31日）

2014年5月16日

株式会社アイ・アール ジャパン（6051）

株式会社アイ・アール ジャパンの承諾なしに、本レポートの全部もしくは一部を引用または複製することを厳重に禁じます。

本決算説明会資料は、決算情報の開示のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国またはそれ以外の一切の法域における有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。

また本決算説明会資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる第三者からの情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本決算説明会資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本決算説明会資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本決算説明会資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。

新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

I . 2014年3月期業績報告

2014年3月期 決算ハイライト

(百万円)

	2014/3期累計実績			2013/3期 累計実績 (前年同期比)	2014/3期 通期業績 予想	予想比
		前年同期比	増減			
売上高	3,192	4.4%	133	3,058 (13.0%)	3,360	▲5.0%
営業利益	626	2.3%	14	612 (26.4%)	813	▲22.9%
経常利益	560	▲7.8%	▲47	608 (24.6%)	742	▲24.5%
当期純利益	336	4.9%	15	320 (49.2%)	423	▲20.4%

- ✓ 当期累計の業績は、売上高、営業利益、当期純利益が過去最高となったものの、通期業績予想未達となりました。
- ✓ 経常利益は、ライツ・オフリングに係る株式交付費77百万円の発生等により前年同期を下回りました。



2014年3月期 通期業績予想未達の要因

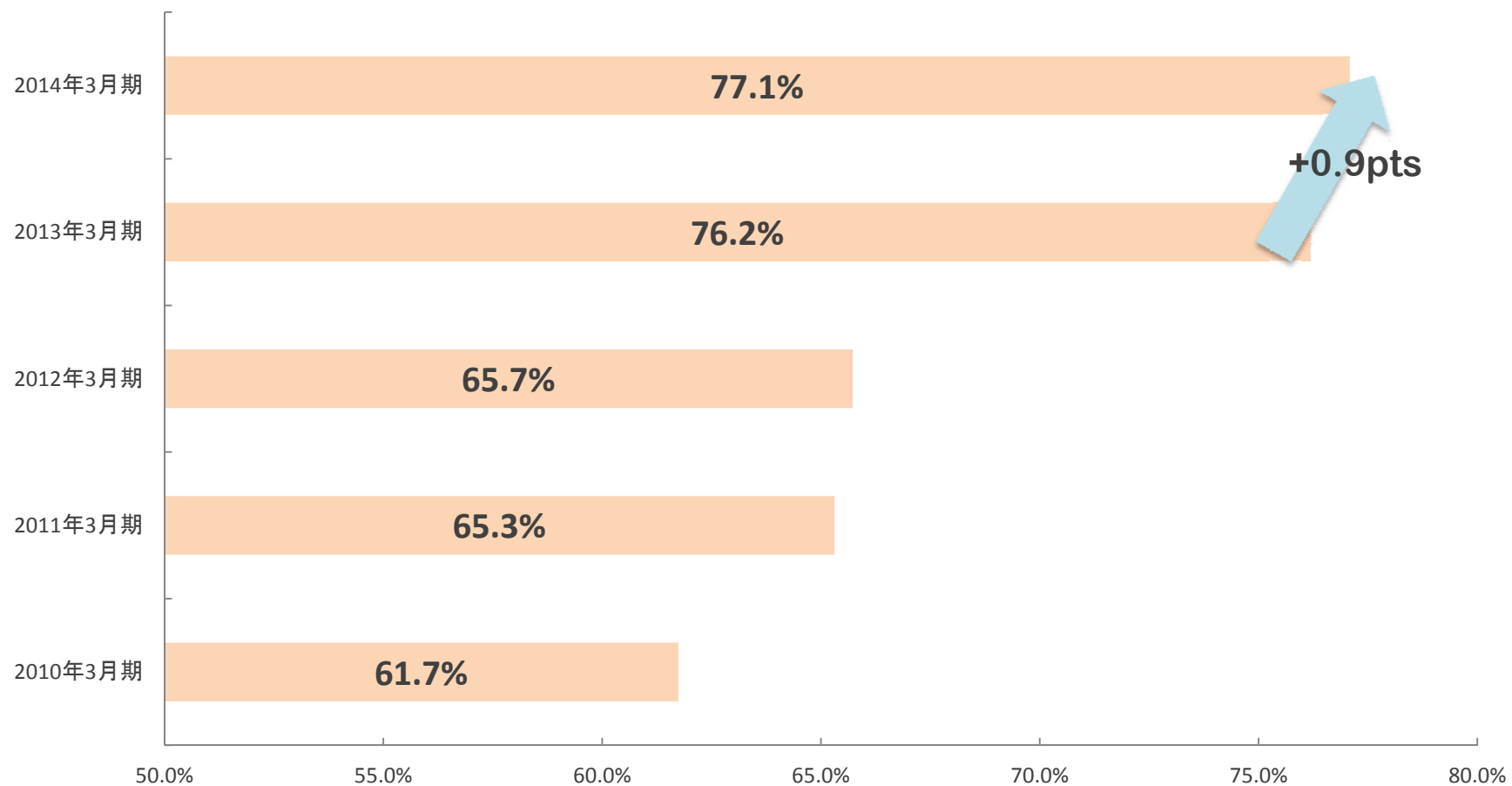
売上高167百万円の主な未達要因

- ① 大型SRコンサルティングサービス等の開始の遅れ
- ② 証券代行事業の収益寄与の遅れ
- ③ ディスクロージャーコンサルティングの伸び悩み

営業利益186百万円の主な未達要因

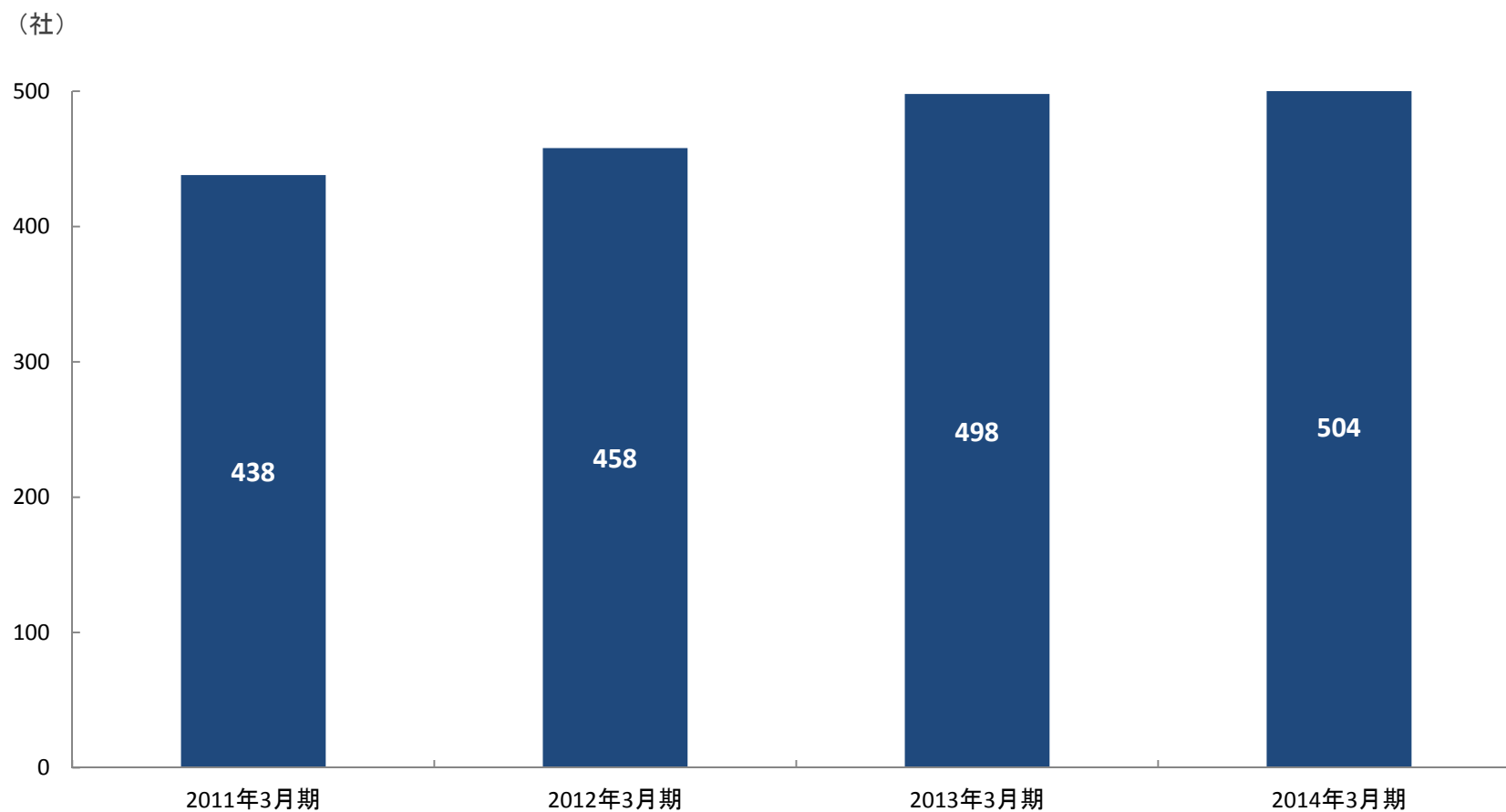
- 売上高の未達
- 外注費率の高い案件の受託

海外株主判明調査シェアの推移



* 全国株懇連合会「株主総会等に関する実態調査集計表」における海外株主判明調査実施企業に占める当社顧客数の割合

2014年3月期 顧客数の推移

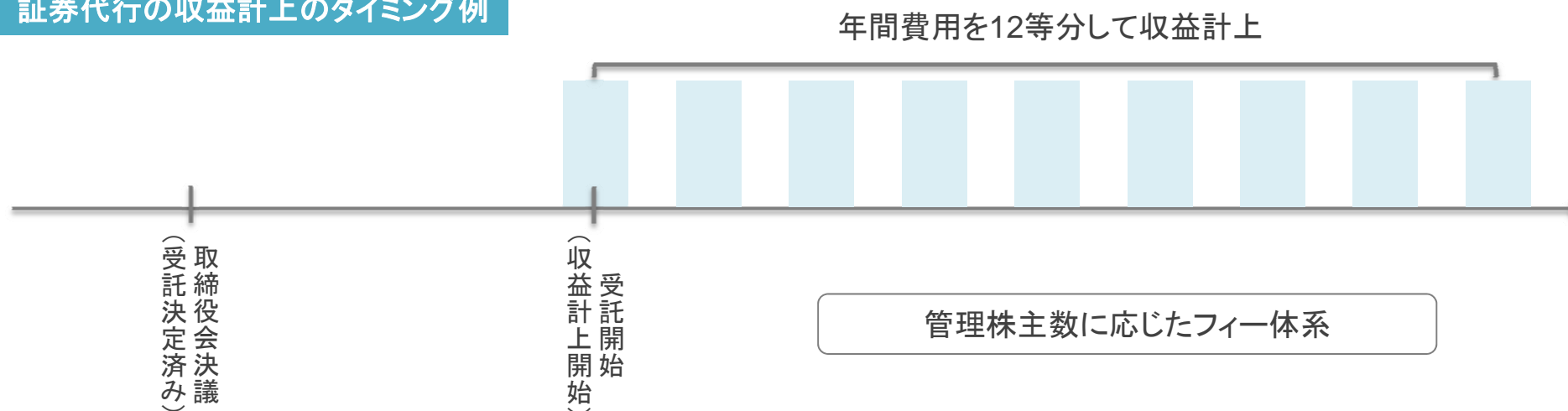


✓ リーガルドキュメンテーション顧客の減少の一方、株主判明調査顧客の増加により前期+6社となりました。

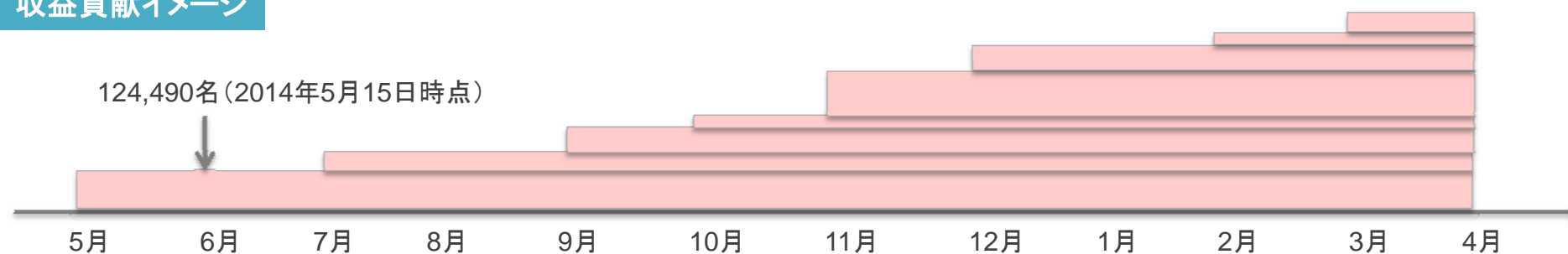


② 証券代行業の収益寄与の遅れ

証券代行の収益計上のタイミング例



収益貢献イメージ

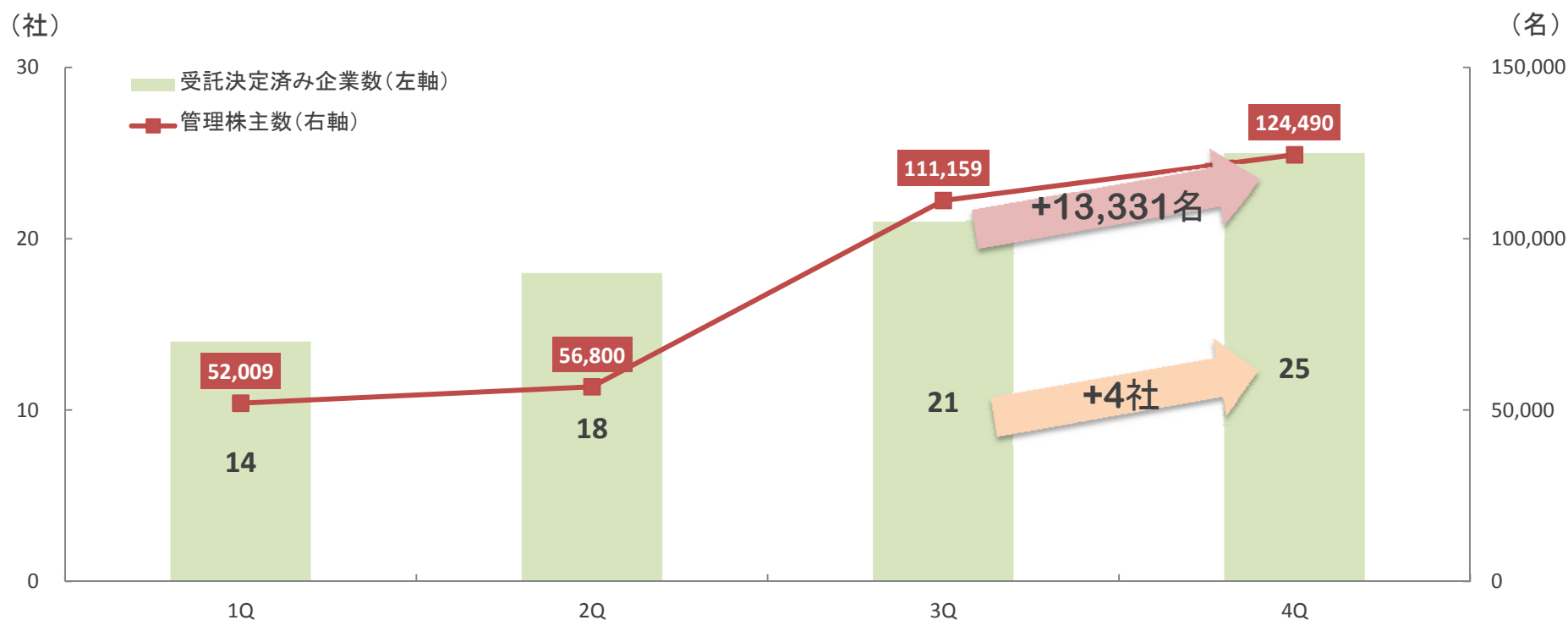


- ✓ 当期は受託決定から受託開始までのタイムラグのある案件が多かったことから収益貢献は限定的となりました。
- ✓ 次期は12万名の管理フィーをベースに、追加収益を積み上げてまいります。



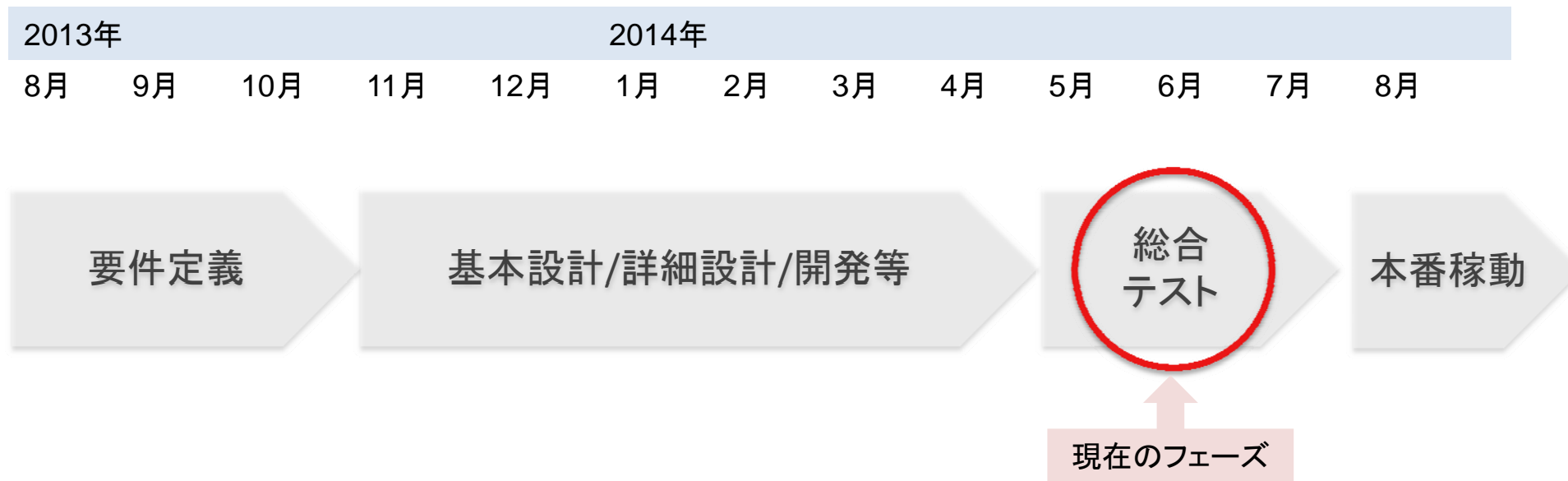
受託決定済みの企業は25社、管理株主数は124,490名（2014年5月15日時点）

受託決定済み企業数 及び 管理株主数の推移



証券代行業務の受託実績が評価され、受託決定済みの企業は25社、
管理株主数は124,490名となりました。株主数の多い企業での大型コンペも決定しております。

証券代行業務システムの拡張開発は、順調に進捗



- ✓ 2013年4月に実施した日本初のコミットメント型ライツ・オファリングによって調達した資金を基に、2013年8月より日本IBM社と証券代行業務システムの拡張開発を実施しておりますが、開発は予定通りに進捗しております。
- ✓ 2014年7月までに300百万円程度の投資を完了し、8月以降償却を開始する見込みです。

③ ディスクロージャーコンサルティングの伸び悩み

- ツールコンサルティング
 - ✓ 機関投資家向けアニュアルレポート制作企業の減少
 - ⇔ 財務諸表等の定量的な財務情報と、定性的な非財務情報を合わせて掲載する統合報告書の普及の兆し
 - ⇒ ツールコンサルティングの新たな収益機会
- リーガルドキュメンテーションサービス
 - ✓ 戦略的な新規営業活動の縮小

ツールコンサルティングを中心に、
ディスクロージャーコンサルティング全体の売上を維持してまいります。

2014年3月期 サービス別売上高 実績

(百万円)

	2014/3期 累計実績 (前年同期比)	2013/3期 累計実績 (前年同期比)	増減
IR・SRコンサルティング	2,370 (6.7%)	2,221 (14.6%)	149
ディスクロージャー コンサルティング	583 (▲1.4%)	591 (9.2%)	▲8
データベース・その他	237 (▲3.0%)	244 (7.9%)	▲7

- ✓ コア事業であるIR・SRコンサルティングは、2期連続で増収を達成しました。
- ✓ IR・SRコンサルティングを除くサービスでは、減収となりました。



2014年3月期 費用内訳

(百万円)

費用科目	2014/3期 累計実績	2013/3期 累計実績	増減	主な要因
営業費用*(①+②+③)	2,565	2,445	119	
①外注費	625	642	▲16	
②その他経費	1,888	1,829	58	
人件費	1,162	1,102	59	・コンサルタント、証券代行事務担当等の採用に伴う人件費の増加
営業関連費	140	117	22	・セミナー開催、新聞広告等の販売促進費の増加
専有設備費	354	323	31	・証券代行システムの減価償却費が増加
その他	230	285	▲55	・のれん償却額減少(前期末まで発生)
③仕掛品の影響	51	▲25	77	・2013年3月期から発生した大型案件の影響

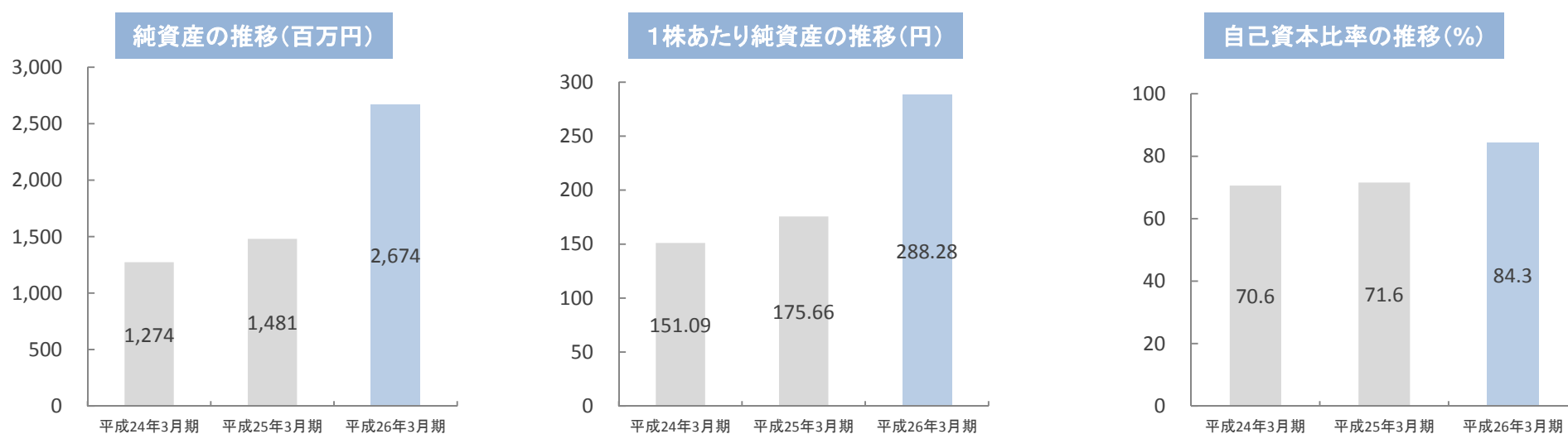
営業費用*

当社では就業時間に応じて人件費等を売上原価及び販管費に各々計上しているため、売上原価及び販管費の計上額が就業時間によって大きく左右されます。そこで人件費等の各費目について、売上原価及び販管費を合算することで、就業時間の変動に影響を受けない分析を行っております。



2014年3月期 B/Sの要点

- 純資産は、ライツ・オファリングの実施による新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ506百万円増加したことによって、2013年3月期末に比べ1,192百万円増加し、**2,674百万円**となりました。
- 1株あたり純資産は、2013年3月期末の175.66円から64.1%増加し、**288.28円**となりました。
- 自己資本比率は、2013年3月期末の71.6%に比べ、+12.7ptsの**84.3%**と財務体質が一層強固となりました。
- 2014年3月末時点の自己資本規制比率*は**562.2%**となり、高い水準を維持しました。



自己資本規制比率*

当社は第一種金融商品取引業者であり、金融商品取引法に規定される自己資本規制比率の規制(120%以上を維持する義務)を受けております。

Ⅱ． 投資銀行部の発足

当社が2013年4月に実施した日本初コミットメント型ライツ・オフリングが DEALWATCH AWARDS「INNOVATIVE EQUITY DEAL OF THE YEAR」を受賞

「Innovative Equity Deal of the Year」の受賞

当社が2013年4月に実施した日本初コミットメント型ライツ・オフリングがトムソン・ロイター社のDEALWATCH AWARDSにおいて、「Innovative Equity Deal of the Year」を受賞いたしました。

「コミットメント型ライツ・オフリングの第1号として、パイオニア精神を示す。既存株主の希釈化を回避しながら、資金調達を可能とする、新たな調達手段を提案し、きめ細かな案件運営により98.30%という高い行使率を実現した。」との評価を頂戴いたしました。

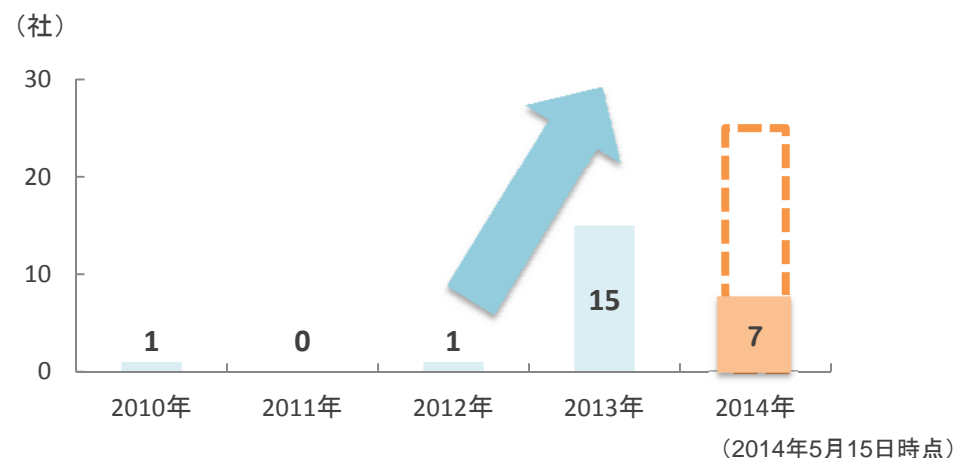
DEALWATCH AWARDS授賞式にて



DEALWATCH



ライツ・オフリング実施企業数の推移



自社で実施したノウハウを活かし、ライツ・オフリングアドバイザー業務を開始しました

投資銀行部の発足と業務内容

証券代行や判明調査等の提案を契機に、当社に対するファイナンス支援の期待が高まる
それらのニーズに応えるため、2014年1月に**投資銀行部**を発足

投資銀行部の主な陣容

- 栗尾 拓滋 : 代表取締役副社長・COO 兼 投資銀行本部長(平成2年、神戸大学卒)
野村證券において、IPO、上場企業の資金調達、M&Aなどの投資銀行業務に20年以上従事。
- 谷本 伸介 : 投資銀行部長(昭和62年、東京大学卒)
平成7年、ケースウエスタンリザーブ大学MBA取得。第一勧業銀行(現みずほ銀行)、ムーディーズ・ジャパンで法人営業、国際金融、審査業務や債券格付け業務に従事。数多くの事業会社の分析に携わる。
- 富松 圭介 : マネージング・ディレクター(平成9年、慶応義塾大学卒)
UBS証券、クレディ・スイス証券、モルガン・スタンレー証券において、株式関連のデリバティブ商品やストラクチャード商品の開発や販売を数多く手掛け、企業の資金調達やリスクヘッジに貢献。

投資銀行の業務内容

- ライツ・オファリング関連業務
 - ✓ ライツ・オファリングアドバイザー業務
 - ✓ インフォメーションエージェント
- フィナンシャルアドバイザー業務
 - ✓ 株式交換における交換比率算定
 - ✓ 資本政策に関する支援
 - ✓ 企業価値算定
 - ✓ M&A支援・仲介
 - ✓ 財務戦略および経営戦略に関する支援 等

守りのSR(株主総会)からプロアクティブなSR(ファイナンス)コンサルティング領域へ

投資銀行部の受託実績

開示済案件(一部)

- 2014年3月 ライツ・オフリングに関するフィナンシャルアドバイザー業務
対象企業：株式会社省電舎(東証マザーズ 1711)
支援内容：総合的なアドバイザー業務、インフォメーションエージェント
- 2014年5月 株式交換に関するフィナンシャルアドバイザー業務
対象企業：エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社(東証第 I 部 8242)
支援内容：株式交換比率算定、ドキュメンテーション作成

進行中の案件(一部)

東証第 I 部
事業買収に関するアドバイザー
(包括的秘保持契約締結済み)

東証第 I 部
経営統合に関するアドバイザー
(秘保持契約締結済み)

東証第 II 部
資本提携に関するアドバイザー
(業務委託契約締結済み)

東証第 II 部
経営統合に関するアドバイザー
(秘保持契約締結済み)

非上場
株式売却に関するアドバイザー
(秘保持契約締結済み)

非上場
事業譲渡に関するアドバイザー
(秘保持契約締結済み)

ライツ・オフリング関連業務のみならず、幅広い金融ソリューションを提供しております。

Ⅲ. 次期業績予想

2015年3月期 通期業績予想(2014年5月15日時点)

(百万円)

	2015/3期 通期業績予想	前期比	増減	2014/3期 通期実績 (前期比)
売上高	3,500	9.6%	307	3,192 (4.4%)
営業利益	920	46.8%	293	626 (2.3%)
経常利益	920	64.1%	359	560 (▲7.8%)
当期純利益	550	63.3%	213	336 (4.9%)

IV. 株主還元

2015年3月期 年間配当予想(2014年5月15日時点)

現時点における2015年3月期の配当予想は、第2四半期末、期末配当共に2014年3月期と同額としております。
ただし、業績動向等を踏まえ、自己株式の取得を含めた機動的な対応を行う予定です。

1株あたり配当金の推移

	第2四半期末	期末	年間
2015年3月期予想 (2014年5月15日発表)	8円	12円	20円
2014年3月期予想 (2014年2月12日発表)		12円	-
2014年3月期実績	40円*		
2013年3月期実績	22.5円*	47.5円*	70円*

* 当社は、2013年11月27日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。そのため2014年3月期第2四半期配当以前は、株式分割前の金額を記載しております。

Your Capital Market Intelligence

IR Japan



株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー

Your Capital Market Intelligenceとは、IR Japanが発行企業、投資家の皆様の資本市場でのリスク回避や多種多様なニーズへの対応をコアビジネスとし、独自のIntelligence(高度な情報を駆使して解決する能力)をフル活用し、持続的な成長を加速させることを示すコンセプトです。